

KagoGIGA インフォメーション

⑤

鹿児島県教育庁義務教育課
令和4年2月号

今回の話題 GIGA 端末の持ち帰り～オフラインでも可能です～

新型コロナウイルス感染症による感染が拡大する中、本県でも1月27日から2月20日まで、県内全域に「まん延防止等重点措置」が出されました。

このような非常時においても、子どもの学びを止めないという観点から、GIGA 端末の持ち帰りによる学習保障に取り組む市町村・学校も出始めました。

GIGA 端末の持ち帰りについては、家庭の通信環境の問題等により、なかなか踏み出せないとの意見もあるようですが、オフラインであっても文章作成ソフト等によるタイピング練習やカメラ機能を用いた学習などが可能です。また、学校で問題をダウンロードさせ、オフラインで解答させる方法もあります。

そこで今回は、学校で問題をダウンロードさせ、家庭ではネットワークにつなげずに学習課題に取り組ませる方法について、一例を紹介します。

【家庭でネットワークにつなげずに学習課題に取り組ませる方法例】

I 手順

- ① 問題（ファイル）を準備する。
- ② 学校で問題（ファイル）を配信する準備をする。
- ③ 児童生徒に問題（ファイル）を端末に保存させる。
- ④ 問題に取り組ませる。
- ⑤ 取組状況を把握する。（取組を見取る。）

II それぞれの手順の説明

- ① 問題（ファイル）を準備する。
 - ◎ 問題（ファイル）は児童生徒が誤って問題を書き換えたりすることがないように、PDF形式のものが望ましい。
 - ◎ 問題（ファイル）の準備方法は、以下の3通りが考えられる。

【コラム：担当者雑感】GIGA 端末の持ち帰りの利点

「無理に端末を持ち帰らせなくても…」、「プリントを配布すればいいし…」というような意見もよく聞きます。

しかし、臨時休校等の緊急時には、家庭等への連絡や児童生徒の体調や心理状態等の把握など、通常にはない業務が生まれます。一人一人に電話をかけて確認することに比べると、オンライン会議を使えば、画面越しで短時間ではありますが、表情を確認したり、直接声をかけたりするなど、コミュニケーションを途切れさせないことが可能になります。

また、学習保障の面でも、複数種類のプリントを人数分印刷するだけでも大変な作業です。私も教諭時代、週末は子どもたちの理解状況に応じて問題を複数種類探して人数分印刷し、それぞれの子どもたちに自分で選ばせて持ち帰らせるという宿題の出し方をしていましたが、かなり大変だったのを覚えています。学校でダウンロードさせて持ち帰らせることで、印刷する手間が省け、個別最適化も図れて負担軽減を図ることもできます。このように、オフラインでも可能な取組がいくつもありますし、子どもたちのスキルアップにもつながります。

子どもたちへの関わりを途切れさせることなく、負担軽減も図れることも考慮すると、せっかく整備された GIGA 端末。「使わない手はないな。」と個人的には感じているところです。

- (1) インターネットから配信可能なPDFファイルをダウンロードする。
 - ・ 鹿児島学習支援 Web システム
⇒ 各教育委員会、学校にアクセス方法周知済み
 - ・ 鹿児島学習定着度調査、全国学力・学習状況調査の過去問題 等
- (2) 複製配信を許可されている問題集等をPDFファイルにする。
 - ※ 著作権関係には十分注意する。
- (3) 担任等が作成した問題をPDF化する。
 - ・ 中学校などは、過去の定期テストのファイルがあるのでは？

かごしま学力向上支援Webシステム トップ画面



- ◎ 準備した問題（ファイル）を学年や教科ごとに分類して、任意のフォルダにまとめておく。
- ◎ 自宅に持ち帰った後は配信ができないため、解答（ファイル）も準備しておく。

- ② 学校で問題（ファイル）を配信する準備をする。
 - ◎ 配信するアプリ等として、下のコミュニケーションツールが無料で使用できます。



Microsoft Teams（以下、Teams）



Google Classroom（以下、Classroom）



- ※ インターネットブラウザ（Microsoft Edge 等）で使用する。
- ※ 児童生徒や教員も付与している県域教育用アカウント（__@kago.ed.jp）でログインすることができる。

- ◎ 任意のフォルダにまとめておいたファイルを Teams や Classroom の中に保存する。
- ※ ファイルの保存方法等については、別紙の「配信等の方法マニュアル」※を参照



- ③ 児童生徒に問題（ファイル）を端末に保存させる。
 - ◎ 児童生徒に Teams や Classroom にログインさせて、ファイルを端末にダウンロードさせる。
 - ◎ 端末にファイルをダウンロードしておくことで、オフライン（インターネットに接続しない状態）でファイルを開くことができるようになる。
 - ※ ファイルのダウンロード方法については、別紙の「配信等の方法マニュアル」※を参照

- ④ 問題に取り組ませる。
 - ◎ インターネットブラウザ（Microsoft Edge 等）で開いたPDFの問題ファイルに取り組ませる。
 - ※ オフラインでもインターネットブラウザ（Microsoft Edge 等）は開く。
 - ◎ 取り組みせ方として、以下の2つの方法がある。

- (1) 問題はタブレットで見て、解答はノートにさせる。
- (2) インターネットブラウザ（Microsoft Edge 等）で開いた場合、手書きツールも使用できるので、直接PDFに書き込ませた後、保存させる。

※ 併用したり、学年で方法を違えたりすることも考えられる。

- ⑤ 取組状況を把握する。（取組を見取る。）※再登校時
 - ◎ オフラインで取り組ませることを前提とした場合、学校でしかネット環境にはつながらないことから、定期的に分散登校等を行い、その際に取り組んだものを提出させて把握するという方法が考えられる。
 - ◎ ノートに取り組ませた場合は、ノートを提出させ、端末に直接保存させた場合は、ファイルを Teams や Classroom を使って提出させる。



※ 「配信等の方法マニュアル」は「KagoGIGA 情報交流室」にアップしてあります。
 「配信等の方法マニュアル」について、Teams 版と Classroom 版のそれぞれのデータを「KagoGIGA 情報交流室」にアップしてあります。参考にしてください。
 なお、このマニュアルも配信方法の一例です。他の機能やアプリ等を効果的に使った別の方法もあるかもしれません。いろいろ試してみてください。
 また、マニュアルの内容は、オンラインの場合でも使える内容も多く含まれています。まだ使用に慣れてない方、使ったことのない方は是非ご覧ください。